

教科（科目）	国語（現代の国語）	単位数	2単位	学年（コース）	1年次 必履修
使用教科書	『高等学校 新編現代の国語』（第一学習社）				
副教材等	『5訂版 常用漢字オールクリア』（尚文出版）				

1 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 指導の重点

- ① 基本的な言語事項の習得を重視し、特に常用漢字の確実な習得を目指します。
文章を的確に理解した上で、自分の考え方を確立させることを目指します。
- ② さらにそれらを的確に表現し、積極的に他者とのコミュニケーションを図る態度を育てます。

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	・「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	・言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

4 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行う。			
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	・「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	・言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・観察、表現の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析などから、評価します。

5 学習計画

月	単元名	授業時数と領域	教材名	学習活動（指導内容）	評価の観点	評価方法
4	新しい出会い	C (4)	「未知はいくらでもある」宮内悠介	・実体験を踏まえて提示された「未知」に対する筆者の捉え方を理解し、自分に照らして考えを深める。 ・内容や構成、展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれる情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・文章を読み、自分の意見や考えを持つ。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・例示などの修辞を理解する。	a b c	ノート (記述の点検) ワークシート (記述の確認) 発表の様子 (行動の確認) 振り返りシート (記述の確認)
4 5	言葉が開く世界	B (4)	「言語としてのピクトグラム」本田弘之	・ピクトグラムが持つ「言語」としての機能を理解し、言語表現の多様性について考えを深める。	a b c	ノート ワークシート 発表の様子 振り返りシート
5	話して伝える	A (4)	話し方の工夫	・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 ・相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。	a b c	ワークシート 発表の様子 振り返りシート
5	言葉が開く世界	B (4)	「言葉の海のオノマトペ」	・音声と意味との関係から、言語一般およびオノマトペの機能的特徴を理解し、音としての言葉への興味を広げる。	a b c	ノート ワークシート 発表の様子 振り返りシート

6	話して伝える	A (4)	待遇表現	・敬語表現を意識した言葉遣いを理解する。 ・敬語表現が選択される視点を理解する。 ・相手や場に応じた表現が選択できるようになる。	a b c	ワークシート 発表の様子 振り返りシート
6	前期中間 考查	(1)			a b	ペーパーテスト (記述の分析)
6	人間の風景	C (5)	「十六歳のとき」星野 道夫	人生の岐路となった筆者の旅を追体験することにより、 世界にはさまざまな出会いがあることを知る。	a b c	ノート ワークシート 発表の様子 振り返りシート
7	話して伝える	A (2)	情報の探索と選択	必要な情報を探す方法を理解する。 ・情報の信頼性や妥当性の吟味のしかたを理解する。 ・情報の探索と選択を実践できるようになる。	a b c	ワークシート 振り返りシート
7	書いて伝える	B (4)	書き方の基礎レッ スン	・表記・表現の基本ルールを理解する。 ・接続表現の種類や用法を理解する。 ・比喩などの表現技法を理解する。	a b c	ワークシート 発表の様子 振り返りシート
9	生活の中の 表現	B (4)	法律の改正に関わる 文章を読み比べる	改正前後の法律文を読み比べて必要な情報を読み取り、 複数の文章を関連づけながら理解したことをまとめる。	a b c	ワークシート 発表の様子 振り返りシート
9	前期期末考 査	(1)			a b	ペーパーテスト (記述の分析)
10	書いて伝える	B (4)	身近な製品の取扱説 明書を作成する	・情報を的確に説明する方法を理解する。 ・情報を相手にわかりやすく説明する方法を理解する。 ・わかりやすい説明を実践できるようになる。	a b c	ノート ワークシート 発表の様子 振り返りシート
10 11	社会と人間	B (6)	「人はなぜ仕事をす るのか」内田樹	本文中使われている「パス」という言葉の意味を考え、 筆者が述べる仕事の本質について考察する	a b c	ノート ワークシート 発表の様子 振り返りシート
11	話して伝える	A (4)	理想の修学旅行をプ レゼンする	情報を大勢の聞き手にわかりやすく説明するプレゼン テーションの方法を理解し、実践する。 ・効果的なスライドの作り方を理解する。	a b c	ワークシート 発表の様子 振り返りシート
11	後期中間考 査	(1)			a b	ペーパーテスト (記述の分析)
12	現代と社会	C (5)	「イースター島にな ぜ森がないのか」鷲谷 いづみ	イースター島の歴史について理解し、筆者が提示する人 類と生態系のあり方について考察する。	a b c	ノート ワークシート 発表の様子 振り返りシート
12	話して伝える	A (4)	スピーチで自分を伝 える	・自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピー チの方法を理解し、実践する。 ・他の人のスピーチを聞き取り、評価する方法を学ぶ。	a b c	ワークシート 発表の様子 振り返りシート
1	書いて伝える	B (4)	社会に対する意見文 を書く	自分の経験の中から意見を導き出せるようになる。 ・意見文の書き方を理解し、実践し、評価する。	b c	ワークシート 発表の様子 振り返りシート
1	話して伝える	A (4)	理想の修学旅行をプ レゼンする	情報を大勢の聞き手にわかりやすく説明するプレゼン テーションの方法を理解し、実践する。 ・効果的なスライドの作り方を理解する。	a b c	ワークシート 発表の様子 振り返りシート
2	後期期末考 査	(1)			a b	ペーパーテスト (記述の分析)

計 70 時間 (50 分授業)

※領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	A 「話すこと・聞くこと」 22 時間	B 「書くこと」 30 時間	C 「読むこと」 14 時間
-----------------	------------------------	-------------------	-------------------

6 課題・提出物等

- ・各単元ごとに漢字や語句の基礎テストがあります。
- ・『常用漢字オールクリア』を使用し、漢字確認テスト、また定期考查ごとの試験範囲とします。
- ・単元ごとに振り返りシートを記入し、提出することになります。休業中の課題は、別途指示します。

7 担当者からの一言

「現代の国語」は、実社会に生きて働く国語の力を育成する科目です。必要な言語の知識や技能を身につけたり、言葉による見方考え方を働かせることができるように学び合ひましょう。授業では、基礎基本を大切に、次年度の科目にもつながるように主体的に学びましょう。